



スマートシティモデル事業等推進
有識者委員会 -岡崎市資料-



岡崎市総合政策部
デジタル推進課

本日のご紹介内容

1 岡崎市のまちづくり

(1) 乙川リバーフロントエリア

(2) まちづくりの現在値

2 岡崎市のスマートシティ

(1) まちなかウォークابل × 高い自動車依存度

(2) 取組事例ご紹介①～③

3 今後の方向性

(1) 2つの方向性

(2) R4補正 スマートシティプロジェクト

(3) R5以降の事業アイデア

1 岡崎市のまちづくり

(1) 乙川リバーフロントエリア

【乙川リバーフロントエリア】

岡崎市の中心部で、徳川家康公生誕の岡崎城を含む157haのエリア



- およそ800年にわたり広域で中心的な役割を担ってきたSDG s 体現エリア
- 長い歴史を支えてきたのは、時代の節目で役割を変化させる柔軟性
- 現代では都市再生への取組みを進めつつ、Society5.0実現への牽引役として新たな時代の役割を構築しつつある。

H30.3.30
地方再生モデル都市

https://www.mlit.go.jp/toshi/city/sigaiti/toshi_urbanmainte_tk_000056.html

R3.3.31
新しいまちづくりのモデル都市

https://www.mlit.go.jp/report/press/toshi08_hh_000056.html

【支援制度を積極的に活用】



1 岡崎市のまちづくり

(2) まちづくりの現在値

公共空間整備期



公共空間活用推進期



民間投資誘導期



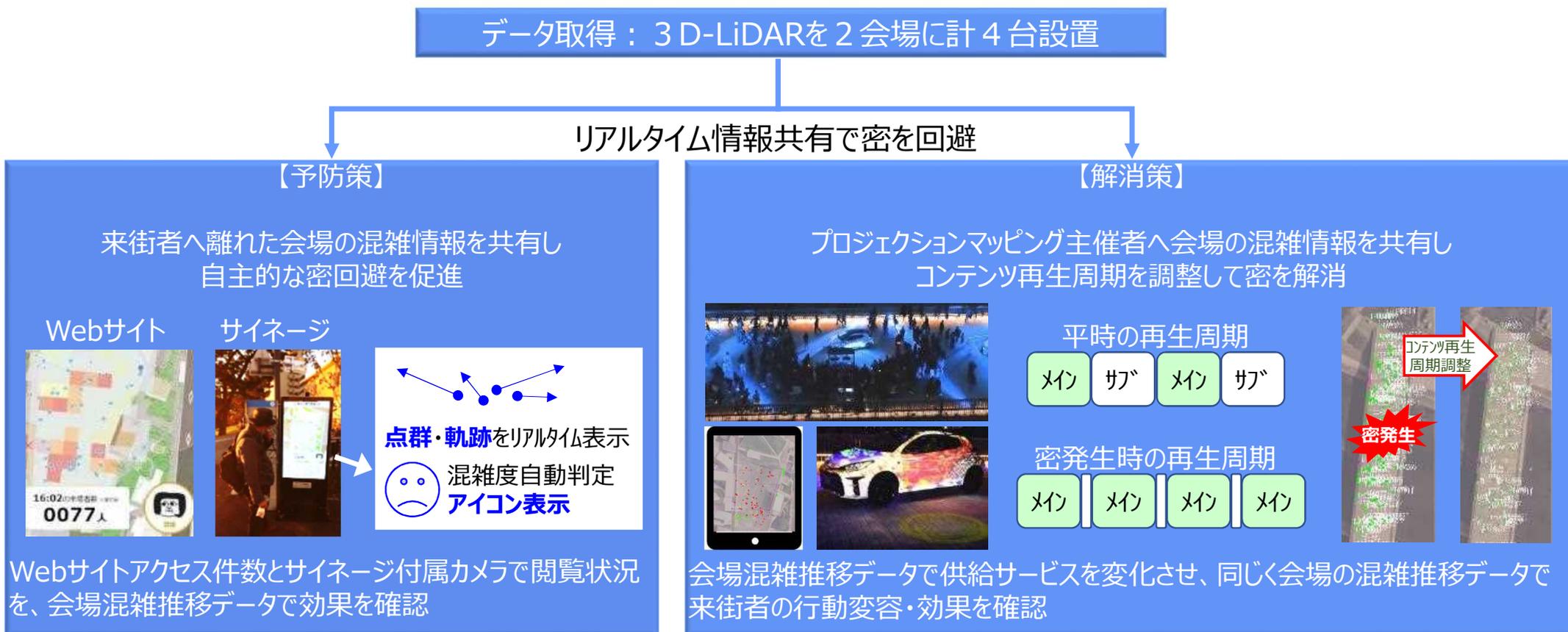
2 岡崎市のスマートシティ

(1) まちなかウォーカブル × 高い自動車依存度



	H30 以前	R1	R2	R3	R4
スマート技術			プロジェクションマッピング		
	サイクルシェア		脱炭素×スマートモビリティ	グリーンインフラ検討	次世代パーソナルモビリティ
データ活用		群衆事故防止	駐車場満空情報	リアルタイム混雑情報発信	広域アプリ連携データ地域活用
			密の予防回避	スタートアップ企業連携	大学連携
			人流カメラ設置	回遊離脱箇所特定	コンテンツツーリズム分析
				観光需要推計	
			サイクルシェア経営改善		

2 岡崎市のスマートシティ (2) 取組事例ご紹介① 密の予防・回避



2 岡崎市のスマートシティ (2) 取組事例ご紹介② リアルタイム混雑情報発信

<ナビアプリ（音声・ポップアップ）発信>



- ETC2.0データ分析により速度低下が発生するエリアを把握し、その周辺を含むジオフェンスを設定。
- ジオフェンス内に、アプリインストール端末を有する人が入った際にアプリ音声とポップアップ発信

<各イベントサイト発信>



<カメラデータ取得・予測・分析>



通信経路の暗号化 (AES128bit以上 - Perfect Forward Secrecy) ※インターネット接続が必須
APN ※安全性の確保、位置非公開

クラウドカメラのクラウド 日本国内のデータセンター利用 録画ファイルの暗号化 (AES128bit以上) 録画保存期間 7日間

不正アクセス防止 ※不正アクセスを防止するセキュリティ対策を導入
IPアドレス制御 既定以外のIPアドレスからの接続を拒否可能
2段階認証 (ID/PASS) + (2FA機能) で 権限を厳格に管理可能

<ポータルサイト>



リアルタイム情報 おでかけまえ情報

カメラデータ取得 分析由来

外部データ連携由来

<外部データAPI連携等>



リアルタイム満空情報を API連携で表示

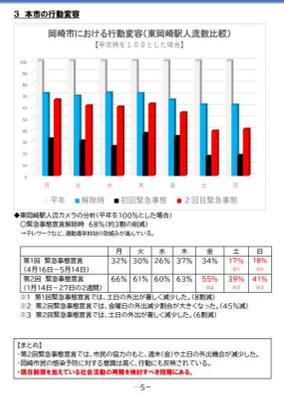
検索時点で予約可能な周辺駐車場を API連携で抽出・表示

渋滞緩和効果
ポータルサイト閲覧結果・駐車場予約結果

デジタル田園都市
国家構想交付金で実装

2 岡崎市のスマートシティ (2) 取組事例ご紹介③ まちなか人流分析カメラ21台の活用

<緊急事態宣言 市民協力状況確認>



左図は、人流分析カメラから作成した第26回岡崎市危機管理対策本部会議の資料

曜日・時間別、協力的な性年代層も把握



<回遊離脱箇所 特定・対策検討>



携帯ビッグデータで回遊離脱箇所を推定、人流カメラで特定し性年代の傾向を把握

性年代に合わせた回遊離脱の防止対策で効果を測定

<花火大会警備計画>



人流カメラと3D-LiDARデータを組合せ、警備計画検討に活用

滞留箇所と駅の混雑相関分析で人流集中回避

<まちづくり主体・商店利用>



<大学連携(コンテンツリズム)>



データサイエンス学部を有する横浜市大、名古屋市大(予定)と連携



人流カメラを活用したコンテンツリズム分析を2月に実施

3 今後の取組み (1) 2つの方向性

【本市スマートシティの特徴】

- ・健全な都市の発展を志向
- ・まちづくり進捗と連動
- ・事業の継続性
- ・ウォークブルを支えるスマート
- ・地道なデータ活用

【都市密度の適正化】

例) 「賑わい増加」と「渋滞緩和」の両立



そのほか居住・店舗・イベント頻度・町内会活動など
都市経営関連の密度適正化にチャレンジ

【東岡崎駅周辺整備との相乗効果】

スマート化で工事期間中・完了後も高付加価値化



北口新駅ビル(北西より俯瞰)



南口ビル(南東より俯瞰)

橋上駅 2023年度～2028年度
新駅ビル 2027年度～2029年度

3 今後の取組み

(2) R4補正 スマートシティプロジェクト

多機能カメラセンサーによるデータ利活用実証事業

今後の東岡崎駅整備や公共空間の更なる利用活発化に向けて、多機能カメラセンサーの導入による柔軟なデータ取得手法を構築し、各事業者と連携したデータ分析及び活用により乙川リバーフロント地区の更なる活性化を図る。

実証事業の内容

多機能カメラセンサーの導入により、駅周辺整備期間中やカメラ常設不可の公共空間（河川）にて、柔軟にデータを取得し、既存固定カメラデータ等と合わせエリアでデータ活用を検討

多機能カメラセンサー導入

人流および車流データの同時取得



可動式カメラの活用



既存機器取得データ

人流カメラ



P満空



- 賑わい増加と渋滞緩和の両立にむけたデータ活用実証
 - ・河川空間利用の情報発信等マネジメント実証
 - ・駅工事中も公共交通分担率を高める方策検討

- 現場混雑状況を勘案した「駅広場マルチ利用」や「サインージマルチ利用」にむけた機能検討

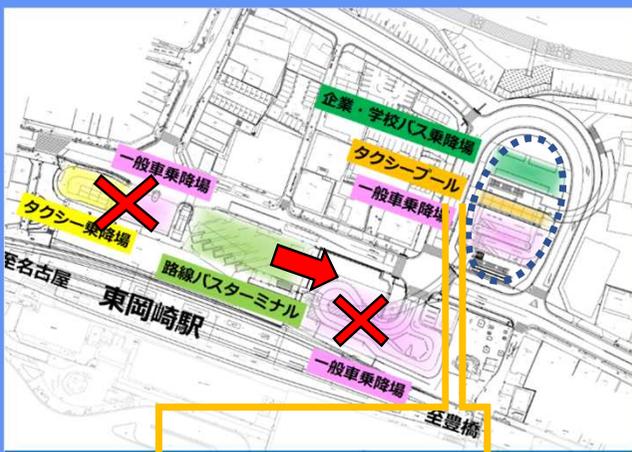
今後の東岡崎駅
周辺地区整備で
活用・実装

3 今後の取組み

(3) R5以降の事業アイデア

東岡崎駅整備 + 多機能カメラセンサー実証 に伴って
スマート化で工事中・完成後も高付加価値化

駅交通広場のマルチ利用



多機能カメラ取得の
リアルタイム混雑情報

<空車時>
タクシープール

<混雑時>
一般車乗降場

スマート機器(サインージ)のマルチ利用



多機能カメラ取得の
リアルタイム混雑情報

<混雑時>

円滑誘導機能

- ・混雑通路情報
- ・推奨通路情報

<平常時>

回遊促進機能

- ・性年代別情報
- ・推奨店舗情報

<災害時>

避難支援機能

- ・帰宅困難支援
- ・帰宅支援

蓄電機能付加

マルチモビリティシティへの挑戦



サイクルシェア

データ活用で
独立採算達成



観光船

既存民間事業
独立採算達成



パーソナルモビリティ

実証稼働率64%
R5実装予定



EVシェア

公用車導入予定
兼来街者シェア

都合に合わせて
自由を選べる
選択支援型の
脱炭素な未来

自動運転EVバス



モビリティ
選択支援